

4. 安全衛生への取り組み

◆ 労働安全衛生基本方針

三ツ星ベルトグループ全従業員の安全と健康確保、及びそれを管理するシステムの継続的な改善は、経営の最重要課題であり、全従業員が協力して安全衛生活動に取り組みます。

〔行動指針〕

全従業員がコミュニケーションを図り、全員参加で安全衛生活動を実行します。

- 安全衛生管理システムが常に有効に機能するように維持、改善を行います。
- 安全衛生関係法令および安全衛生管理規程を順守します。
- リスクアセスメントおよび安全衛生教育を通じて、労働災害の未然防止を図ります。
- 健康診断、メンタルヘルス対策、感染症対策等を実施し、全従業員の健康管理を推進します。
- 交通安全意識を高め、交通事故の撲滅を図ります。

2021年10月1日改定

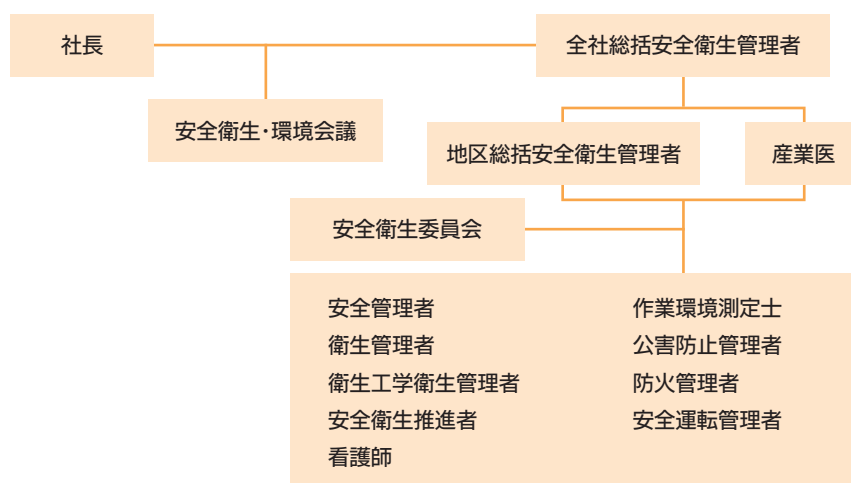
◆ 三ツ星ベルトのリスクと機会及び施策

リスク要因	リスクと機会	施策（取組み、活動）
顧客要求、法規制の強化	法令違反、顧客要求違反による企業価値低下 早期対応による企業価値向上	法規制順守（安全衛生組織の充実、 内部監査、法規制教育）
感染症の感染拡大	事業活動の制限 早期対応による企業価値の向上、事業継続	感染症BCP策定
気候変動への対応	自然災害の多発、甚大化、事業活動の制限 早期対応による企業価値の向上、事業継続	気候変動BCP策定 緊急事態訓練の実施
従業員の高齢化	労働災害、交通事故の増加 早期対応による労働力の確保	リスクアセスメント、KY活動 従業員の健康増進
働き方改革への対応	対応遅れによる企業価値の低下 早期対応による企業価値向上、労働力確保	安全、快適な職場環境 ストレスチェック

◆ 安全衛生管理体制の構築

年2回、安全衛生・環境会議を開催し、安全衛生に関する課題に取り組んでいます。また各事業場では毎月安全衛生委員会を開催し、労使一体で安全衛生活動の改善に取り組んでいます。

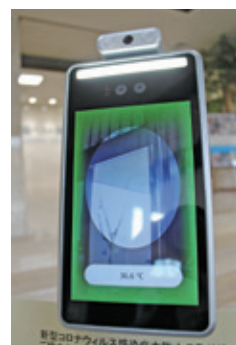
【全社総括組織】



◆ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対しては、「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、国内外の各拠点における感染状況、各拠点の稼働状況、従業員の勤務状況、学校や居住エリアの状況、取引先の状況など必要な情報を整理し、日々状況が変化する中、当社グループで情報を共有しながら感染症対策を進めています。

社員をはじめとするすべての入場者の方々に検温結果の確認、ならびに入門時の検温を実施し、新型コロナウイルス感染対策を講じています。神戸本社玄関ホールにも自動消毒液噴霧器と、非接触型の検温器を設置し、来社される皆さまに消毒と検温をお願いしています。今後もお客様や従業員とその家族の安全を最優先し、事業継続を図ってまいります。



当社グループでは新型コロナウイルス感染症対策として、勤務体制の見直しや在宅勤務の導入を積極的に推進しています。新型コロナウイルス感染症の予防には人と人の接触を減らす事が重要ですが、社員の中には作業環境が在宅勤務に適していない場合もあるため、当社の福利厚生施設「和風荘」の会議室と宿泊室をリモートオフィスとして開放し、テレワークならびにWEB会議に適した環境を確保しながら感染対策に取り組んでいます。



リモートオフィスで業務を行う当社社員